

グローバル化時代における 民主的統治とは

■開催趣旨：

グローバル化と情報化が進展した今日、国民国家の政治システムとして成立した代議制民主主義はさまざまな問題に直面している。それとともに、新しい形態の民主主義の可能性も生まれてきている。こうした現代社会の状況を多角的な視点から検討しながらグローバル化時代における民主的統治のあり方を模索する。

とき

平成25年

11月9日

(土)

13:00~17:00



ところ

日本学術会議講堂

東京都港区

六本木7-22-34

東京メトロ千代田線

「乃木坂」駅5出口

■挨拶： 今田 高俊（東京工業大学大学院社会理工学研究科教授）

■報告：「機能分化の変容と統治の拡散」
正村 俊之（東北大学大学院文学研究科教授）

「世界システムの変化と民主主義」
田中 明彦（独立行政法人国際協力機構理事長）

「リスケーリングの視点から統治の再編を考える」
町村 敬志（一橋大学大学院社会学研究科教授）

「オルタナティブな民主主義の追求：グローバル社会運動における物事の決め方」
野宮 大志郎（上智大学大学院グローバル・スタディーズ研究科教授）

■討論者： 友枝 敏雄（大阪大学大学院人間科学研究科教授）
橋本 努（北海道大学大学院経済学研究科教授）

■司会： 吉原 直樹（大妻女子大学社会情報学部教授）
遠藤 薫（学習院大学法学部教授）

参加費・
事前申し込み
不要

主催：日本学術会議・社会学委員会社会理論分科会

問い合わせ先：正村俊之（社会理論分科会 グローバリゼーション小委員会委員長）
masamura@sal.tohoku.ac.jp